



(発行)  
 \*働きやすい職場をめざす  
 (連絡先) ルネサス武蔵の会  
 \*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男  
 \*電話・FAX ; 042-394-0937  
 \*メール; musashinet@jcom.home.ne.jp  
 \*要望・意見を気軽にどうぞ下さい。

## 07春闘、業種別回答結果

(4月3日現在、加重平均。単位=円、%、歳)

	社数	額	率	基準内賃金	平均年齢
製造業の平均	149	5,594	1.81	307,781	38.0
食品	18	5,413	1.84	293,285	34.8
繊維	16	6,075	2.05	294,842	37.9
紙・パルプ	6	4,623	1.50	309,851	40.0
化学	20	5,512	1.70	326,801	39.1
ゴム	6	5,353	1.81	294,501	39.2
窯業	5	5,463	1.72	313,655	39.4
鉄鋼	5	3,724	1.25	296,024	35.0
非鉄・金属製品	6	5,046	1.68	295,847	38.4
機械	28	6,353	2.03	310,559	38.3
<b>電機</b>	<b>9</b>	<b>7,119</b>	<b>2.14</b>	<b>328,092</b>	<b>38.2</b>
造船	4	6,344	1.94	326,197	40.3
自動車・部品	12	5,225	1.83	283,967	37.7
輸送機器	3	5,356	1.75	305,831	40.0
精密機械	6	5,636	1.98	290,563	38.0
印刷	2	4,720	1.87	251,001	34.9
雑貨・その他	2	9,649	2.61	365,138	37.0

07年4月16日付「日経」

## 07年春闘、製造業の平均

# 1.8%の賃上げに!

### 世間における 春闘の結果

07春闘の回答水準について調査をしました。  
 日経(4/15付)

製造業149社平均額  
 5594円(1.8%)  
 昨年比+98円  
 (平均賃金) 30万7781円、平均年齢38.0歳、昨年の賃上顎 5496円)

連合(4/12発表)  
 2366組合の加重平均額は5847円(1.93%) 対前年比+304円

春闘共闘(4/10発表)  
 274組合の加重平均額は6781円(2.04%) 対前年比+654円(0.04%) となっています。

### 電機産業の平均 2.14%賃上げ

日経の報道によると、電機産業の9社の平均賃上げは2.14%の7119円となりました。ルネサスの平均賃上げ額が公表されていますが、世間並みの賃上げを実現させたいものです。

### 集積回路

\*今年の春闘の特徴に初任給の引き上げがありました。電機各社も「高卒で1000円」「学部卒で1500円」「修士卒で2000円」の増額となっています。マスコミでは「初任給引き上げの動きは、採用競争が過熱気味になり給与水準を上げなければ優秀な人材を確保しにくい状況」と指摘する一方「既存社員との賃金バランスがくずれ、調整に時間がかかる」「一時的に若手社員の不満が高まる可能性もある」と報道されています。初任給の引き上げも大切ですが、入社してからの給与も平均的に増額をすることも重要だと考えます。

# 売上げ、10・2%増

米調査会社のガートナーは、06年の世界半導体市場の売上げが05年比10・2%増の2627億ドル（約30兆5600億円、1ドル＝116・34円で換算）となったと発表をしました。

日本国内の企業は、東芝が4位から6位に後退し、ルネサスも7位から8位に後退しています。DRA M専業のエルピーダは、27位から20位に躍進をしています。（07年4月11日付「日経産業新聞」）

順位		企業名	売上高	率
06年	05年	(国名)	(百万ドル)	(前年比)
1	1	インテル(米)	30,437	12.0
2	2	サムスン(韓)	20,138	9.8
3	3	TI(米)	11,984	18.4
4	6	インフィニオン(独)	10,533	28.4
5	5	STマイクロ(仏伊)	9,854	10.9
6	4	東芝	9,783	8.9
7	9	ハイニックス(韓)	8,007	39.9
8	7	ルネサス	7,900	2.5
9	14	AMD(米)	7,434	86.1
10	11	フリースケール(米)	6,049	8.0

(注)米調査会社ガートナーの発表値は赤字またはマイナス。

07年4月11日付「日経産業」より

## 電機連合の闘いを考察

### (1) 賃上げ(ベースアップ)の内容を大きく変質させた

今春闘電機連合は、春闘の歴史を変質させる新たなステージに踏み込んだ感があります。先ず、従来では賃上げとはいえない各種是正分を含めた合計額を賃上げ相当分と認めたことです。もちろん批判もあることから、改善額とは是正分に分けて公表しています。是正分には、子育て支援(松下・東芝)から、教育費用(富士通)、処遇制度の見直し(日立)など様々です。

### (2) 統一闘争からの後退

昨春闘のハドメをめぐっての混乱への反省からか、今春闘では当初から統一回答を設定しない方向が模索されました。回答指定日の一週間前から早々と500円の最低改善額と是正分を含めて1000円のすり合わせが行われました。さらに、回答不満の場合の実力行使についての転換です。従来の戦術である「24時間スト」から、「無期限の時間外・休日出勤拒否」へと変

えました。ここにも、「闘わない春闘」へのより一層の後退が象徴的にみられます。

### (3) 「春闘崩壊」が進む職場の取り組み

電機各職場での、「春闘崩壊」現象が進んでいます。すでに、組合のビラからは「春闘」という言葉が死語になりつつあります。春闘での職場集会への取り組みも大きく後退しています。かつては、組合の統率のもとで、全組合員の総決起集会がもたれていましたが、今では形だけの集会になっています。また、ネットを通じての報告配信と意見の吸い上げしか行われていない職場も増えています。

### (4) 連合路線からも逸脱する電機連合

今春闘連合では、「社会的格差是正」やパート労働者などの賃上げの課題にも取り組みました。しかし、電機連合では非正規労働者の労働条件の改善や正規社員への登用、パート労働者の賃上げなどの具体的な取り組みがほとんどみられませんでした。

# 問題だらけの国民投票法案

## 強行採決で可決

国の最高法規である憲法を変える為の手続き法案「国民投票法案」が、衆議院で4月12日委員会強行採決され、本会議13日に自民党、公明党によって裁決され参議院へ送られました。

改憲勢力は憲法9条を変えて、日本を戦争のできる国へしようとしています。2000万人という多くの犠牲のう



えに作られた現憲法は、戦争の放棄をうたい、武力の行使を認めません。そのおかげで戦後62年間戦争で人を殺すことも、殺されることもなく平和の日本を築いてきました。アメリカの同盟国として、アフガン戦争やイラク戦争に自衛隊が派遣されても武器をもって闘うことはできませんでした。

しかし改憲勢力は憲法違反の自衛隊を、憲法を変えて合法化された軍隊にしようとしています。憲法を変える為には、第96条で「各議院の総議員の3分の2以上の賛成で国会がこれを発議する」となっています。それが「国民投票法案」です。

## 有権者の2割でも成立

憲法では「過半数の賛成で成立する」となっていますが、い

ま国会へ出されている法案は有効投票の2分の1以上としています。

成立に必要な最低投票率について何も定めていません。外国では投票総数の2分の1以上が常識です。最近のさまざまな選挙は投票率が50%に満たない場合もあります。そうすると、有権者の2割台でも成立することになってしまいます。

## カネで憲法をつごかす

テレビ・ラジオなどの有料広告については、投票前2週間を禁止するだけです。改憲勢力には財界がついており、資金力にものを言わせ大量の意見広告で国民の意思をゆがめる危険があ

## 休憩室

ネットカフェ難民？住人？

増えているんだって

寝泊りするの？

「れつてん」って何？

相次ぐ保険金不払い

今一度よく契約を見てみよう

それでもよくわからないかな！

ります。

運動抑制の最たるものが「地位利用」を口実にした公務員・教育者の国民投票運動を憲法上の根拠も示せず禁止です。

矛盾噴出で答弁不能になるほどの中味ボロボロで国民主権を侵す投票法案は廃案にするしかありません。

(H)

# 職場だより

## メーデーに参加して

久しぶりに組合のメーデーに参加した。分裂以来である。立川駅南口を降りて歩きはじめてまず驚いた。かつてはメーデー会場へ向かう人で行列をなしていたのに、それらしき人が全然いない。無料バスがピストン輸送す

# 長時間労働の是正 本格的改善はこれから

長時間労働について12月には労使で「活力ある職場づくり労使委員会」が設置され、対策が行なわれました。具体的には「定時退勤日の徹底」「休日出勤ゼロの日設定」「22時以降の残業をゼロにする」「退勤から出勤までを11時間以上を空ける」などです。その後、異常な長時間労働の是正が一定程度進んでいるようですが、開発職場では「高負担が継続する」などの実態があり、本格的な改善はこれからと言った状況です。(T)

るとかで皆それに乗るのであるのか。三多摩連合メーデーというバスが走っていた。

第一部の式典1時間は民主党の各議員のあいさつが延々と続く。最後の「がんばろう」も「夏の参議院選挙がんばろう」である。いまわたしたち労働者が直面している問題、「格差と貧困」「労働法制改悪反対」「憲法改悪反対」等の話しは全然出てこない。選挙一色

である。労働者の集会なのか、政党の決起集会なのか

わからないほどである。参加した人は「いつも選挙・選挙なんだよ」とぼやいていた。ピゴゲームが終わるといつせいに半分以上の人達が帰ってしまつた。豪華懸賞につられて数あわせの参加という感じである。でも確かに2部・3部は子ども連れの家庭サービスの舞台であつたが、ごどもいらない人達は居る必要のない内容といえる。あまりに様変わりしたメーデーに労働組合の危惧を感じてしまつた。 M

## 春闘が終わると 大幅増益と発表

今年の春闘は、親会社の日立や三菱電機よりも

絵手紙でご挨拶



低額の500円で終わつてしまい不満の声がでていました。そうした中、4月27日(金)に社長から全社員にメールが届きました。それによると、06年度の決算は「大幅増益になりました」と言っています。年間一時金も4・7ヶ月と低めになっています。大幅増益であれば、もっと社員に還元してもいいのではないのでしょうか。(Y)

## 編集後記

この4月から健康管理センターの医師が増員になりました。長時間残業者の面談が多くなっている現状に対応をされたものと考えられており、社員のためにも良かったです。何よりも残業を減らす事が必要です。(T)